

週間漁海況情報—第3号

平成26年1月20日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

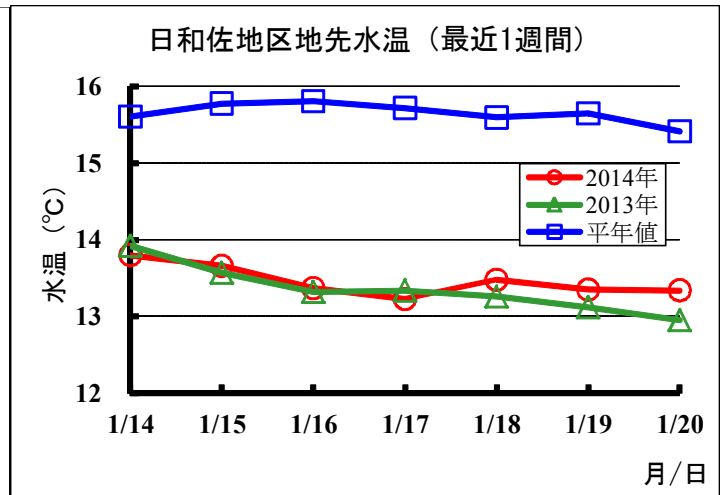
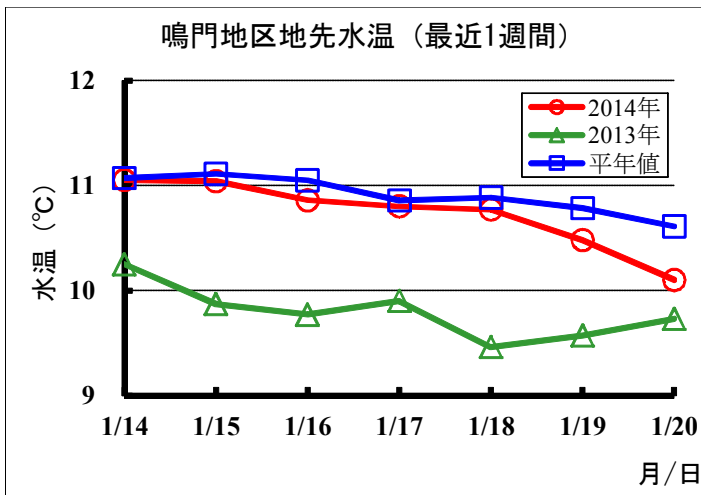
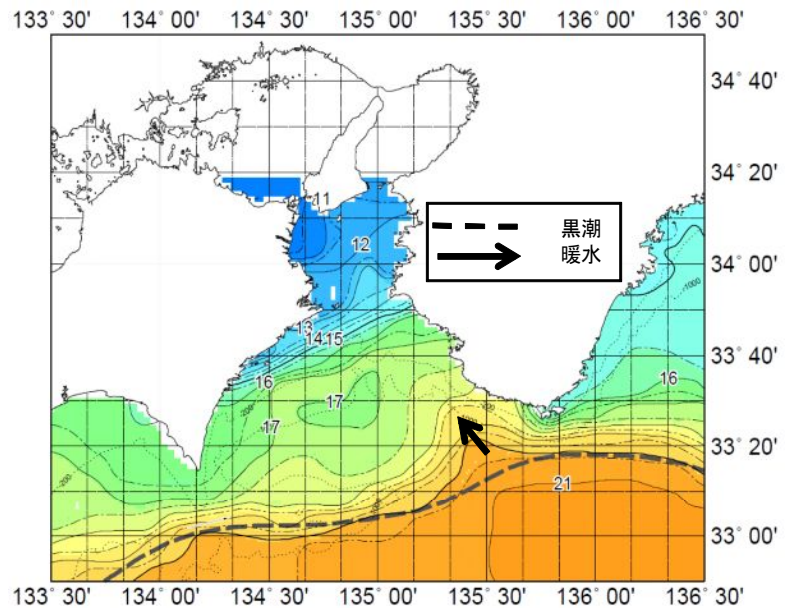
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.1.20）を示した。

黒潮は、室戸岬沖で接岸、潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、20～21℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で9～10℃台、紀伊水道で11～13℃台、海部沿岸で12～17℃台である。紀伊水道外域では、和歌山県沿岸から暖水流入がある。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並」の10.1～11.1℃、日和佐地区は「かなり低め」～「低め」の13.2～13.8℃、牟岐地区は「かなり低め」の11.6～14.4℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値

鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にキダイが0.5トン（1日1隻あたり16kg）、カワハギが0.6トン（同46kg）、大主体にサバフグが0.8トン（同54kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で、中主体にカサゴが0.2トン（同9kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、10～11cm主体のカタクチイワシが5.0トン（同84kg）、アオリイカが0.5トン（同6kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、小主体にマサバが0.2トン（同26kg）、小主体にタチウオが0.3トン（同34kg）、中主体にスルメイカが0.2トン（同29kg）、小主体にケンサキイカが0.2トン（同27kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大・中主体にタチウオが0.2トン（同35kg）水揚げされた。

かご：海部沿岸で、小主体にウツボ類が0.2トン（同41kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2014年1月13日～2014年1月19日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	31	511	16	大主体
		カワハギ	13	595	46	
		サバフグ	14	755	54	大主体
建網		カサゴ	28	243	9	中主体
小型定置網		カタクチイワシ	60	5,023	84	10～11cm主体
		アオリイカ	80	457	6	
大型定置網		マサバ	8	206	26	小主体
		タチウオ	8	268	34	小主体
		スルメイカ	8	236	29	中主体
		ケンサキイカ	8	216	27	小主体
釣り		タチウオ	6	210	35	大・中主体
かご		ウツボ類	6	246	41	小主体

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年1月14日～1月20日には、海部沿岸では、延縄で、中主体にアカムツが0.2トン、大主体にキダイが0.3トン、大主体にサバフグが0.3トン、カワハギが0.3トン、小型定置網で、キビナゴが1.0トン、小主体にマルアジが0.4トン、メジナが1.8トン、スズキ類が0.3トン、アオリイカが0.5トン、大型定置網で、マメ主体にマアジが0.3トン、小主体にゴマサバが1.2トン、特大主体にイサキが0.4トン、中主体にメジナが0.3トン、中主体にアオリイカが0.6トン、中主体にスルメイカが1.5トン、釣りで、メジロが0.4トン、大主体にアオリイカが0.3トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖において「接岸」、潮岬沖において「やや離岸」～「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の10℃台、日和佐地先で「低め」の13℃台で推移する見込み。